

学校だより

姫小通信

妙高市立姫川原小学校

第2号

平成24年5月15日

電話72-2409

メール imegawa@ac.city.myoko.niigata.jp HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>



自分たちの力で

自分たちの力で頑張ろうと二年生が動き出した。生活科の学習にある野菜を育てる学習である。いつもなら土が覗いている畑も四月は雪の塊が残っていた。

畑会議と題し、子どもたちに問うと、自然に溶けるのを待たずに雪かきを始めようと相成った。除雪機を動かそうとしていた用務員さんは、子どもの力を信じ、見て見ぬふりをしてくれた。彼らは朝登校するやいなや長靴にはき替え畑へ。みんなが楽しく遊んでいる昼休みに、二年生全員が畑で雪かきを続ける日々が何日も続いた。大野さんが雪かきのコツを教えてくれた。溝を作ってから面白くように溶け始め、毎日学校へ来る別の楽しみが生まれていった。近所に住む増村さんも見かねて加勢してくれた。

ついに石灰を撒き、畑を耕す時を迎えた。雪の重みで土はかなり固い。二年生の力では歯がたたない。トラクターですれば速い作業をあえて体験させた。

何故小さい子どもが畑仕事や大動物飼育をするのか。体験重視、体験のもつ意味の中には、簡単にいかない、困難を味わわせることがある。そこでは、仲間と力を合わせ成し遂げることや、大人の知恵をもらい生きていく術を学んでいく。大変で二度としたくないという体験になるか。大変だったが楽しかったという体験につながるか。それはこれからの活動の展開にもかかわってくる。何でもお金で買えば手に入る世の中、あえて、自分の手を使い、ゼロからスタートした。

畑で野菜を育てる前にかんがりの尊い学びができた。手をかけた分、大きな喜びを見い出すことだろう。

全校なかよし班 異学年活動開始

31は、みんなで一つという願いをこめました。
自分勝手にならず、いろいろな意見を言い合える
ような仲間になりたいと思います。



31 サーティワングループ

山が好きな仲間の声を聞き、世界一高いエベレスト
を入れました。1年生を大切に仲良く絆を深めたい
と思います。



エベレスト たか グループ

花の名前をつけたいとみんなで考えまし
た。楽しく助け合って遊んだり掃除をし
たりしていきたいです。



チューリップ グループ

さわやか 児童会

一グループ十名の縦割り班が結成されました。
学校規模に関係なく、今学校では人間関係の力を
育てるために、学年の違う人とのかわりを大切
にしています。当校では、その異学年活動を『な
かよし班活動』としています。

四月早々に行われた出会いの活動では、「お兄
さん、お姉さんよろしくね」と、自己紹介や握手
でスタートしました。今年は、各グループの名前
をつけてもらいました。グループリーダーに名前
の理由や意気込みを聞いてみると、低学年の意見
を取り上げた班、愛称を考えた班、願いをこめた
班と様々です。

児童会活動は「さわやか児童会」という名称で
す。異学年活動も、児童会活動の一環として大き
く機能しています。先日の一年生を迎える会で
は、一年生にクイズが出されました。グラウンド
の築山の名前を聞いたり、校地にある一番背の高
い木の名前を聞いたり、地域の有名なチョウの名
前を問うなど、子どもたちがよく考えた学校三択
クイズでした。

これからの活動として、ロングの昼休みに、一
緒に遊んだり、行事の準備をしたりします。もう
すぐ高床山に遠足にも出かけます。高学年が小さ
い子の手を取り、励まし合いながらゴールを目指
すことでしょう。冬には大縄大会があり、練習を
繰り返して力を合わせて本番に臨みます。

姫川原小学校の大きな特徴は、お昼の清掃もそ
の「なかよし班」であることです。ほうきの使い
方、雑巾の絞り方など、今一生涯懸命高学年が手
を取り教えてくれています。低学年が上手にでき
ると、しつかり褒めることも忘れていない高学年で
す。

このように、先輩から後輩へ、さまざまな活動
を通して、学校の自慢や伝統を伝え教えながら、愛
校心を育んでいきたいものです。



みんなにここに笑顔で仲良く過ごしたいと考えました。
みんなの心に残る気持ちのよいグループにしたいです。



にっこり 5班 グループ

太陽グループ

太陽のようにみんな明るく仲良く過ごしたいで
す。いっぱい大勢の人と接して、友達をたくさ
ん作ってほしいな。



スカイ グループ

澄み渡った青い空のように、助け合いみんな元
気なグループにしたいです。





学校の話題

右見て 左見て 右見て



9日に全校で交通安全教室を開きました。1・2年は歩行練習を、3年以上は自転車訓練を中心に行いました。一年間の交通事故による死亡者の人数を聞き、低学年にとっては想像もつかない数でしたが、「飛び出さない」ことを肝に銘じて、自分の命を守ろうと、誓い合いました。



「うれしいエピソード」子どもたちに紹介しました！



4月中旬のことです。292号線の団地入口交差点で信号待ちの際、微笑ましい風景に出合い、幸せな気分になったというネットの書き込み記事があり、貴重な情報提供をいただきました。その児童の下校の様子を紹介します。

『上級生が反対側に渡る一年児童の手を引き素早く横断し、渡り終えたのを確認して引き返した。一年生の男子児童は お礼の頭を下げると、確認した上級生は手を振ってこたえていた。』早速子どもたちに紹介し、褒めてあげました。



廃品回収 ご協力ありがとうございました

天候に恵まれず1週間遅れの4月21日、無事に廃品回収を行うことができました。缶と瓶に絞った内容の廃品回収なので扱いやすく、親子でたくさんの空き缶を大きなビニール袋に詰め直してくれました。役員さんらは何往復も車に乗せては運んで下さいました。地域の皆様はじめ保護者の皆様の協力のおかげで、27000円余りの収益を上げることができました。感謝申し上げます。

